

月刊 社会保険 8

2020 VOL.841

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

全国社会保険委員会連合会第28回定期総会について
令和2年度における年金委員の重点的な活動内容等について

日本年金機構からのお知らせ

事業主の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休業で著しく報酬が下がった場合
健康保険・厚生年金保険料の標準報酬月額を翌月から改定することが可能です。

全世代型社会保障検討会議 第2次中間報告(概要)

全国社会保険委員会連合会第28回定期総会について	4
令和2年度における年金委員の重点的な活動内容等について	10
日本年金機構からのお知らせ	
事業主の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休業で著しく報酬が下がった場合 健康保険・厚生年金保険料の標準報酬月額を翌月から改定することが可能です。	12
全世代型社会保障検討会議 第2次中間報告 (概要)	14
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員として 日本ガス株式会社総務グループ グループ長 迫 浩一	18
アマリストがいく!! ピンチをチャンスに変える謝罪術 第4回 相手に誠意が伝わるように 株式会社クロスリバー代表取締役社長 越川 慎司	20
日本とは異なるイタリアの生活事情 第4回 ロックダウン解除後の観光 イタリア在住ジャーナリスト 茜ヶ久保 徹郎	22
書評 片山杜秀 著 『皇国史観』	24
認知症とともに生きる家族の物語 第4回 愛犬が見つないだ絆 社会福祉法人心の会理事長・特別養護老人ホームさくらの里山科施設長 若山 三千彦	25
認知症を予防する③ 第4回 キムチ／フラボノイド／制酸剤 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30／年金保険編 32／介護保険編 34／労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	
表紙写真・竹内敏信／イラストレーション・水森亜土／デザイン・編集協力・(有) フェイム／印刷・(株) エイエヌオフセット	

表紙のことば——**竹内敏信** 「光の響」**「ツツジ」**

熊本県五木村



ツツジが美しく咲く背景には竹林がある。まさに日本の風景である。これが自然にあるというのが本当に素晴らしい。自然で手入れをされてないツツジは、少し無造作な育ち方をしている。公園などではありえない形ではあるが、またそれがおもしろい。ここでしか味わうことのできないよさなのである。竹が増え社会問題にもなっている中、こうして美しい風景があるのも事実。上手に共存できる世界になってほしいものである。

社会保険委員として



日本ガス株式会社総務グループ グループ長
さこ こう いち
迫 浩一

●地域に必要な企業として

弊社は、鹿児島市に本社を置き、同市を中心に都市ガスを供給しています。また、都市ガスの原料となるLNG（液化天然ガス）基地を南九州において唯一保有していることから、鹿児島県内はもとより、宮崎県内および熊本県南部にLNGを卸供給している会社です。

さて、鹿児島においてのガス事業の歴史は古く、薩摩の名君「島津重豪」公が磯の別邸（現：仙巖園）において反射炉の余熱を利用したガス発生装置（石炭ガスレトルト）を用い、集成館内の機械工場に使用するとともに、桜島を眼前に位置する別邸内の庭園にある「鶴灯笼」に竹筒をつなぎガスの灯を燈しました。

その後、明治43（1910）年に鹿児島市において都市ガス事業が興され、昭和20（1945）年太平洋戦争時下において一時ガス供給を中止せざるを得ない時代もありましたが、これまで100年余りの歴史ある事業活動をつづけています。

現在は、総合生活提案企業としてさまざまな分野で事業を行っていますが、総合エネルギー事業としては、都市ガス事業およびLNG（液化天

然ガス）卸供給事業を基盤としながらも、新たなエネルギー事業である電力事業にも参入し、多くのお客様に電力を供給しています。

また、鹿児島市ごみ処理場施設のゴミから発生するメタンガスを、都市ガスの原料として受け入れる「地産地消」のエネルギー事業にも取り組み、近い将来実現する運びとなっています。

快適空間創造事業としては、リフォームブランド「E-STYLE」を立ち上げ、快適な住まいの提案と省エネルギーを両立させる住まいづくりを行っていて、昨年、賃貸マンションにおいて実施した断熱効果を高める住まいづくりは「リノベーション大賞」を受賞しました。

さらに、1人ひとりのお客様に寄り添う事業として「暮らしサポート事業」にも取り組みはじめ、インハウスピジネスとして「ハウスクリーニング」「家事代行」「トラブル駆け付けサービス」を展開しています。

また、健康事業としてはスポーツクラブを県内2カ所で展開、「食」への取り組みとしては料理教室「かごしまキッチンほのほの」の運営、植物工場においては完全人工光型施設で「すこい野菜」とネーミングしたフリ

ルレタスを栽培し、鹿児島県内のスーパーはもとよりホテルや外食産業に利用いただいています。以上のように、弊社は都市ガスをはじめとしたエネルギー事業のみならず、新たな事業にもチャレンジしていく中で、鹿児島のお客様に寄り添う事業展開を行いつつ、南九州一円の地域の皆様に必要な企業でありつづけていきたいと考えています。

●委員としての活動

私は平成23（2011）年から年金委員を務め、現在では協会けんぽ鹿児島支部の評議員も務めています。社会保険委員としての活動を通じ、セーフティネットとして重要な役割をあらためて感じつつ委員会活動を行っています。

鹿児島県において年金委員会は各地域の6委員会構成されていますが、私が所属している鹿児島北社会保険委員会は鹿児島県の主幹委員会で、離島を含む200事業所が加盟してさまざまな活動を行っています。

主な活動としては、5月の総会において年度の主な活動内容を決議し、実施しています。

その中でも年金セミナーは代表的な取組みであり、離島を含む各地域で定期的に開催しています。また、年金委員の合同セミナーを毎年開催し、社会保険に関する知識向上に努めています。

さらに、シニアセミナーを開催し、年金制度などの理解を深めてもらう委員会活動を中心に行っているところです。

このほか、熊本県、宮崎県、沖縄県、鹿児島県の4県で「南九州4県会」を組織し、年に1度の意見交換会を持ちまわりで開催しています。昨年は沖縄県那覇市で交流を深めました。また、県内の活動のみならず、県を越えての委員会活動は、社会保険委員としても企業人としても得るものが多い活動となっています。

さて、これからの委員会活動を考えると、まずは「年金委員」を増やしていかなければならないと感じています。

前述の南九州4県会の意見交換会においても、共通した今後の課題として皆様認識していて、当委員会も同様に感じているところです。

これは、今さら申し上げるまでもなく、私たちの生活はさまざまな社会保障の上に成り立っており、相互

扶助を目的とした年金制度は最も必要な制度のひとつです。にもかかわらず、一般的に理解されにくい状況にあるので、年金委員を増やすことでその課題を克服していきたいと考えています。

さらに、年金委員を増やすことで地域のつながりを深めることにもなり、地域の絆をより一層強めることが、私たちの住む地域社会を住みよい街とすることができると信じています。

この原稿を書いている最中に世の中では、「新型コロナウイルス」の感染拡大により「緊急事態宣言」が発出されており、地球規模の危機的状況といえる状態がつづいています。

その状況において医療関係者をはじめ、多くの人々がこの困難な状況を乗り越えようと活動をつづける姿を見ていると、社会構造の基本的な姿が見えてくるとともに、社会保障の重要性、相互扶助の必要性、さらには人と人との絆を強く感じます。

このような状況が1日も早く収束し、以前のような平和な社会が訪れることを願ってやみません。

最後になりましたが、今回の新型コロナウイルスで亡くなられた方々

にお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方々の早期回復と、その治療・看護に命を尽くしておら

れる医療従事者の皆様に敬意を表します。

（鹿児島北社会保険委員会会長



日本ガス鹿児島工場